

大船渡港湾口防波堤災害復旧事業着工式を開催

～ 東日本大震災津波からの復興に向けて ～

港湾課

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波により、大船渡港では、湾口防波堤が倒壊するなど、港湾施設に甚大な被害を受けました。この度、被災した**大船渡港湾口防波堤の災害復旧事業**に着手することとなり、**平成 24 年 7 月 14 日に着工式**を開催しました。

大船渡港湾口防波堤の復旧にあたっては**ねばり強い構造・水質環境に配慮した構造**とすることとしており、平成 27 年度の復旧工事完了を目指し、国による整備が進められます。



着工式での戸田大船渡市長の挨拶



【参考】

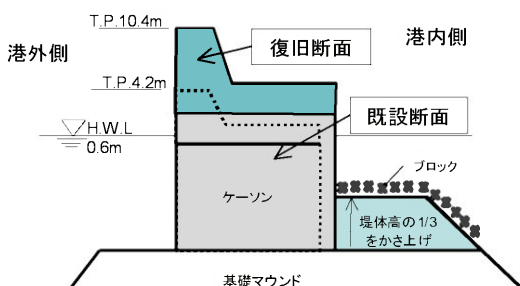
◎ねばり強い構造

基礎マウンドをかさ上げし、ケーソンの滑落に抵抗するとともに、かさ上げ箇所をブロックで覆い、基礎マウンドの洗掘を防止する構造で復旧。

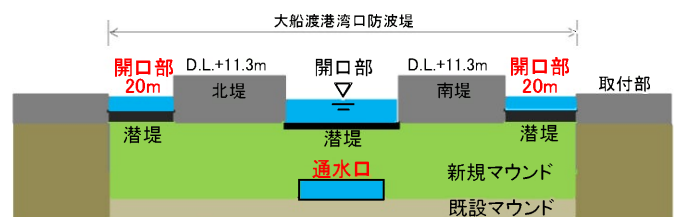
◎水質環境に配慮した構造

両端の開口部を 20m 開放し、水深 10m の潜堤を設置。また、中央開口部に通水口 (面積約 150 m²) を設置することにより、海水交換の促進を図る。

粘り強い構造 (イメージ)



水質環境に配慮した構造 (イメージ)



※構造については検討中